

# 最先端計算科学が描き出す海の30年

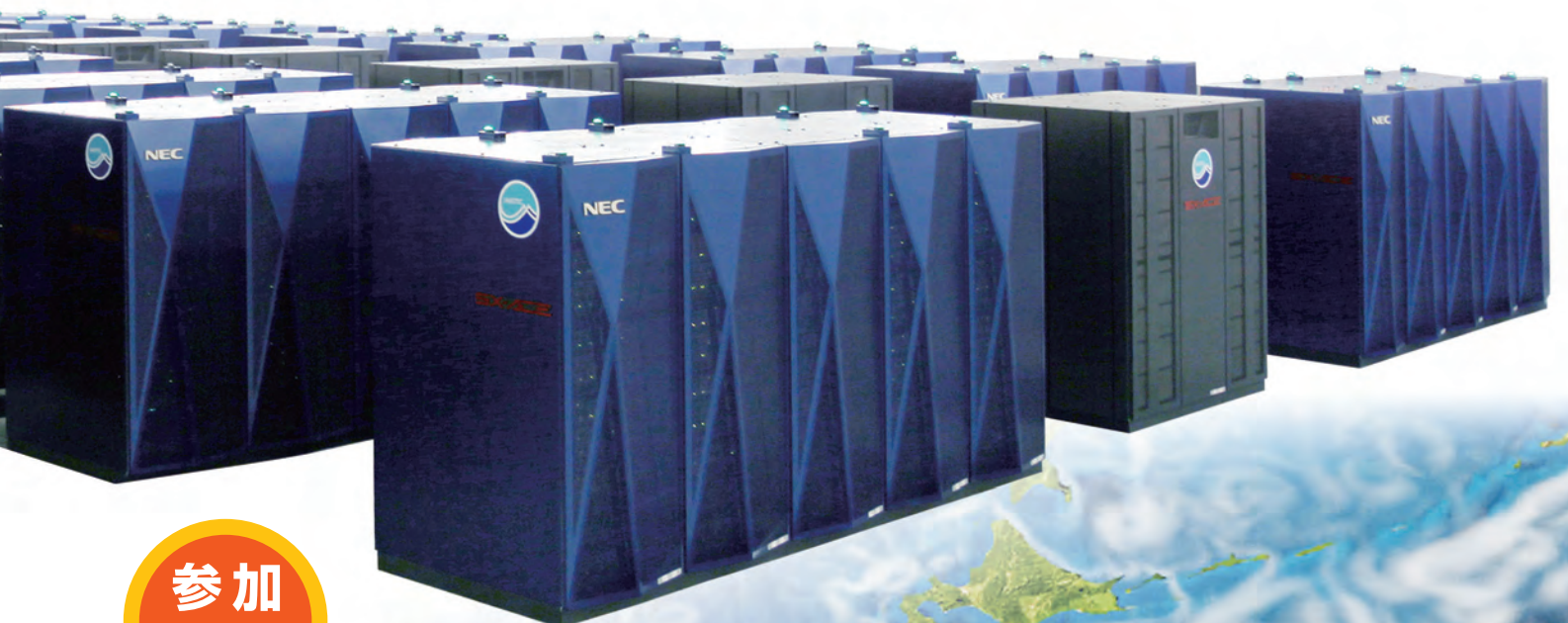


## 長期海洋再解析FORAシンポジウム

FORA 4(Four)-dimensional variational Ocean ReAnalysis

共催：国立研究開発法人海洋研究開発機構 / 気象庁気象研究所

国立研究開発法人海洋研究開発機構と気象庁気象研究所では、スーパーコンピュータ「地球シミュレータ」を利用して、長期海洋再解析FORAデータセットを作成しました。このデータセットは日本周辺の海洋環境を高分解能で再現しており、長期間の海洋環境変動や水産資源への影響など、実社会での利用が期待されます。このシンポジウムでは、各分野の研究者からFORAデータセットを利用した今後の展開を紹介します。



参加  
無料

**開催日時** 平成28年1月20日(水) 13:00 ~ 17:00 (開場:12:00)

**会場** 一橋大学一橋講堂2F中会議場(東京都千代田区一ツ橋2-1-2)

**詳細内容および事前申込** <http://www.jamstec.go.jp/ceist/>

**お問合せ** 国立研究開発法人海洋研究開発機構 地球情報基盤センター 企画調整室  
シンポジウム担当 Tel: 045-778-5861

E-mail: [es-sympo@jamstec.go.jp](mailto:es-sympo@jamstec.go.jp)



**JAMSTEC** 国立研究開発法人  
海洋研究開発機構  
Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology

# 最先端計算科学が描き出す海の30年

## 長期海洋再解析FORAシンポジウム

日時：平成28年1月20日（水） 13:00～17:00（開場：12:00）

会場：一橋大学 一橋講堂 中会議場

共催：国立研究開発法人海洋研究開発機構／気象庁気象研究所

12:00	開場 受付開始
13:00 - 13:10	開会挨拶 高橋 桂子 海洋研究開発機構 地球情報基盤センター センター長
13:10 - 13:20	来賓挨拶 文部科学省
13:20 - 13:50	地球シミュレータで海を再現する 石川 洋一 海洋研究開発機構 地球情報基盤センター グループリーダー
13:50 - 14:20	FORAから見てきた海の30年の歴史 碓氷 典久 気象庁気象研究所 海洋・地球化学研究部 主任研究官
14:20 - 14:50	海洋観測網と数値モデルで海を切り開く 若松 剛 海洋研究開発機構 地球情報基盤センター 特任主任技術研究員
14:50 - 15:05	休憩
15:05 - 15:35	台風と海洋がなす結合系～FORAへの期待～ 伊藤 耕介 琉球大学 理学部 助教
15:35 - 16:05	FORAが挑む水産資源長周期変動の謎 西川 悠 Rutgers University／日本学術振興会特別研究員（PD）
16:05 - 16:50	パネルディスカッション 司会：蒲地 政文 気象庁気象研究所 研究総務官 / パネラー：講演者
16:50 - 17:00	閉会挨拶 堀田 平 海洋研究開発機構 理事

### ● データセット FORAとは

データセット FORAは、国立研究開発法人海洋研究開発機構と気象庁気象研究所が、最先端のデータ同化手法である4次元変分法海洋データ同化システムを用いて作成した海洋長期再解析データセットです。海洋観測船やArgoフロート等による観測データや人工衛星による海面水温・海面高度等のデータを統合し、北西太平洋領域における過去の海洋環境変動を精緻に再現したもので、約10kmメッシュの高分解能と30年以上の長期にわたる海洋再解析データセットは世界初となります。このデータセットの作成は、スーパーコンピュータ「地球シミュレータ」を用いて初めて実現しました。

※ FORAは4(Four)-dimensional variational Ocean ReAnalysisの略称です。

### ● 「地球シミュレータ特別推進課題」とは

「地球シミュレータ特別推進課題」は、平成27年6月から運用を開始した新地球シミュレータの能力を最大限に活かし、海洋地球科学分野における画期的な成果創出を加速するために、平成27年度から新しく設定された地球シミュレータの資源配分の枠組みです。選定された課題には、地球シミュレータの一部を一定期間占有するなどの集中的な資源利用や専任スタッフによる技術的サポートなど、成果創出にむけた突破口を提供しています。

データセット FORAは、「地球シミュレータ特別推進課題」として採択された課題により作成されました。